

# 百

日本の  
森・滝・渚  
全国協議会 会報

## 選賛美

第3号  
2010

- 事業レポート
  - ・平成21年度総会、シンポジウム、現地視察
- 百選地探訪
  - ・森：「赤沢自然休養林」長野県上松町
  - ・滝：「姥ヶ滝」石川県白山市
  - ・渚：「宮崎・境ヒスイ海岸」富山県朝日町
- 会員百選地通信

平成22年度総会開催地 宮崎県日向市  
「柱状節理」と「白砂青松」  
大地の活動と日向灘がはぐくむ

黒潮文化のまち



日本の森・滝・渚全国協議会では、ホームページからイベントなど全国の百選地情報を発信しています。

URL <http://www.mori-taki-nagisa.jp> もしくは森滝渚で検索



### 日本の森・滝・渚全国協議会

自然環境に関する全国協議、森林浴の森全国協議会と日本の滝全国協議会、日本の渚全国協議会が合併し、「日本の森・滝・渚 全国協議会」が誕生しました。



### 百選地イベント情報



100選地に選ばれた各名所では、四季を通していろいろな催しが行われています。



地域をクリックで、各参加団体(エリア)ごとに100選地を紹介します



### ■森・滝・渚の各百選地を紹介 (概要やアクセス、周辺ガイドなど)



### ■百選地のイベント情報を掲載



### ■地方別に百選地を検索



### ■この他、会報のバックナンバーを掲載





### 5 平成22年度総会開催地 宮崎県日向市

「柱状節理」と「白砂青松」  
大地の活動と日向灘がはぐくむ  
黒潮文化のまち



### 9 百選地探訪 中日本ブロック

10 赤沢自然休養林（長野県上松町）  
・木曾ヒノキと木曾八景  
・“信州そば”と“えごま”  
・網代細工とへぎ板  
・第39回信州・木曾上松赤沢森林浴



14 姥ヶ滝（石川県白山市）  
・天然露天風呂からの眺め  
・白山の恵み 白山百膳  
・高原の納涼床“芝床”  
・獅子吼高原からの夜景百選



17 宮崎・境ヒスイ海岸（富山県朝日町）  
・宝石と夕陽が輝く海岸  
・世界一薄い和紙を漉く  
・茶製エスプレッソ“バタバタ茶”



### 2 事業レポート 長野県松本市

2 平成21年度総会  
3 シンポジウム  
「全国自然敬愛サミット2009」  
4 現地視察  
・日本の滝百選「三本滝」  
・上高地（大正池～河童橋）



### 20 会員百選地通信

- |    |          |          |
|----|----------|----------|
| 21 | 風の松原     | 秋田県能代市   |
| 21 | 浄土ヶ浜     | 岩手県宮古市   |
| 22 | 袋田の滝     | 茨城県大子町   |
| 22 | 根尾の滝     | 岐阜県下呂市   |
| 23 | 付知峡      | 岐阜県中津川市  |
| 23 | 養老の滝     | 岐阜県養老町   |
| 24 | 八ヶ峰自然休養林 | 福井県おおい町  |
| 24 | 慶野松原     | 兵庫県南あわじ市 |
| 25 | 猿尾滝      | 兵庫県香美町   |
| 25 | 渋川海岸     | 岡山県玉野市   |
| 26 | 室積・虹ヶ浜海岸 | 山口県光市    |
| 26 | 北の脇海岸    | 徳島県阿南市   |
| 27 | 震動の滝     | 大分県九重町   |
| 27 | 鹿目の滝     | 熊本県人吉市   |
| 28 | ヤクスギランド  | 鹿児島県屋久島町 |
| 28 | 大川の滝     | 鹿児島県屋久島町 |
| 29 | 高浜       | 長崎県五島市   |
| 29 | イーフビーチ   | 沖縄県久米島町  |

# 長野県松本市で 平成21年度総会・シンポジウム・現地視察 を開催

平成21年7月2日、3日の両日、長野県松本市にて平成21年度総会やシンポジウム、現地視察などを開催しました。

会場には日本百名山として名高い乗鞍岳のふもとで日本の滝百選「三本滝」がある乗鞍高原が選ばれ、乗鞍高原温泉旅館組合との協働によって盛大に開催されました。

## 平成21年度総会

2日(木)の総会では、最初に会長代理で副会長の宮城県蔵王町長の村上英人氏から「この2日間に百選地の魅力や保全する意義を再認識し、それぞれの地元での百選地における施策や活動の一助と

なれば幸い」というあいさつに続いて、開催地の長野県松本市長の菅谷昭氏から「これからは豊かな自然を未来の子供たちにいかに残し、共生の在り方をいかに伝えるかが極めて重要なテーマである。また、厳しい経済不況の中、観光地間の競争も激化し、地方公共団体はそこに住む人々と共に、地域の資源を活用して、どのように振興を図っていくか知恵を絞っているのが現状である。しかし乗鞍高原の三本滝を流れる水が梓川となり、犀川そして信濃川を経て日本海に流れ込み、それぞれの場所において命の水として生活を支えていることも忘れてはならない。」とあいさつがありました。

議事では、平成20年度の事業報告及び決算と平成21年度の事業計画及び予算について議案を提出しました。

また合わせて今年度は役員改選の年度にあたるため、役員の増員に伴う規約の改正を提出した後、役員の改選について審議を行いました。

なお、提出した議案全てに承認を頂き、異動のあった役員については宮崎県日向市の黒木健二氏が理事から副会長へ、神奈川県葉山町長の森英二氏が副会長から理事へ交代し、大分県九重町長の坂本和昭氏、茨城県大子町長の綿引久男氏、千葉県鴨川市長の片桐有而氏の3名が新たに理事へ就任され、大分県宇佐市長の是永修治氏が退任となりました。

総会の最後には、次年度(平成22年度)の総会開催地である宮崎県日向市長の黒木健二氏から日向市の紹介があり、総会を閉会しました。



総会会場



会長あいさつ (代理)  
(副会長 蔵王町長 村上 英人 氏)



開催地あいさつ  
(松本市長 菅谷 昭 氏)



次年度開催地あいさつ  
(日向市長 黒木 健二 氏)

## シンポジウム

### 「全国自然敬愛サミット2009」

総会に続いて行われたシンポジウムには、松本市民をはじめ約100名の来場者がありました。

開会の後、会長代理として副会長で宮城県蔵王町長の村上英人氏から「本シンポジウムの開催によって松本市をはじめ全国の魅力ある百選地を再認識・再発見する機会となり、今後の魅力ある百選地づくりへ寄与することが出来れば」とあいさつがありました。

続いて記念講演には、財団法人日本交通公社 常務理事の小林英俊氏を講師として招き「最近の観光動向から見る森・滝・渚」をテーマに講演をお願いしました。講演では、「観光“スポット”ではなく自然環境・文化環境・生活環境の保護活動に係わっている人やコミュニティ、観光以外の産業、自治体との協力によって“観光とは

地域にとって何なのか”を考えることが重要。また、

観光客をただ増やすだけではなく“何を見てもらいたいのか”を考え、観光を賢く使えば他の産業を伸ばすことも可能。」という内容で世界各地の事例を交えながら今後の森・滝・渚の可能性について解説されました。

続いて、顧問の三島昭男氏から「日本と地球の荒廃救おう」をテーマに乗鞍岳のマイカー規制を代表例として市民運動の盛り上がりと呼びかける特別提言がありました。事例発表では、中日本ブロックの森・滝・渚を持つ会員団体から発表を行い、魅力ある自然環境を活かした取り組みを紹介しました。「森」の事例では、三重県名張市から“赤目四十八滝”の概要と森林の持つ公益性を高度に發揮させることを目的とした事業の紹介がありました。「滝」の事例には、

開催地の松本市から“三本滝”と乗鞍高原の概要や歴史、グリーンシーズンの取り組みなどについて紹介がありました。

「渚」の事例は、石川県白山市から“小舞子海岸”の概要と環境保全や観光イベントのほか、新たな観光資源の確立など今後の展望についても紹介がありました。

シンポジウムの最後は、「ふるさとの自然資源とそれらを育んだ



会長あいさつ（代理）  
（副会長 蔵王町長 村上 英人氏）



記念講演 小林 英俊 氏  
（財）日本交通公社常務理事



事例発表 左：石川県白山市 中：乗鞍自然保護センター 右：三重県名張市



シンポジウム会場



特別提言 三島 昭男 氏  
（日本の森・滝・渚全国協議会 顧問）

文化・歴史を守りつつ、行政・地域住民・来訪者の枠を超え、自然を愛する者全ての英知を結集し、敬愛の念を持って共生していく”とうたった松本宣言が満場一致で採択され、閉会となりました。

現地視察

半日コースと一日コースを設定し、両コースとも午前中は日本の滝百選、三本滝を視察、一日コースは午後から更に上高地へ足を伸ばして視察しました。

半日コース

日本の滝百選「三本滝」

乗鞍高原より乗鞍岳へ向かう途中にマイカー規制の入口があり、ここから徒歩で約15分のところに日本の滝百選「三本滝」があります。三本滝は、本流と二本の支流が合流するところで三本の滝を一度に見ることができます。



一日コース

上高地（大正池～河童橋）



中部山岳国立公園の代表的な景勝地である上高地。ここでは大正池から河童橋までの間を透き通った梓川のせせらぎを聞きながら視察しました。左岸を通る往路は、穂高岳や噴煙を上げる焼岳を眺め、自然研究路のケシヨウヤナギやハシノキの林間を歩きました。復路の右岸には世界に日本アルプスを紹介したウエスタン公を偲ぶレリーフがあり、こちらからは霞沢岳や六白山を眺めることができます。ここ上高地では、上高地の純然な自然の様相を肌で感じる時間になりました。



梓川左岸の遊歩道



大正池



河童橋と梓川



ウエスタン碑

平成22年度総会開催地 宮崎県日向市

「柱状節理」と「白砂青松」

大地の活動と日向灘がはぐくむ黒潮文化のまち



右：九州屈指のサーフポイント  
国際大会など数大会を開催  
中：お倉ヶ浜（日本の渚・百選）  
右下：日向の海の幸  
左下：願いが叶う「クルスの海」



**平** 成22年度の「日本の森・滝・渚全国協議会」総会は、日向市で行われます。

日向市は宮崎県の北部に位置し、降水量も多い中、日照時間が長く温暖な気候を特徴としています。

日本の渚百選に選ばれた「お倉ヶ浜」は、九州東海岸日向灘に面し、大分県から宮崎県の北部の日豊海岸国定公園の南部に位置し、大分県から続くリアス式海岸から宮崎県中部の砂浜海岸へと変わる分岐点になります。日向灘に面した自然豊かな松林の美しい白砂青松の海岸です。

地図では「小倉ヶ浜」と標記されますが、日向市に昔から伝わる、ハマグリを旅のお坊さんにさしあげた「お倉」という女性がいた浜にだけハマグリがたくさん獲れるようになったという「お倉とお金」の民話から地元では「小倉（おくら）」ではなく「お倉（おくら）」の浜という意味をこめて「お倉ヶ浜」と呼ばれています。

この民話にも出てくる「ハマグリ」は、「チョウセンハマグリ」という海産のハマグリで、昔からこの殻を加工して囲碁の白石が作られていました。最近では碁石に使



**上・右：馬ヶ背（うまがせ）**

1500万年前の広域噴出によって、火砕流が隆起し冷え固まって出来たと言われています。柱状節理の断層展望台からは、海面高約70mにもおよぶ切り立った岸壁を間近に見ることができます。

**右下：願いが叶うクルスの鐘**

展望台にある恋人同士が寄り添うようなモチーフのモニュメント「クルスの鐘」。恋人同士や家族で鳴らすと、お互いの絆が一層深まるといわれています。



えるような大型の貝の水揚げが少なく、大変希少になっています。

ここ「お倉ヶ浜」でのハマグリ漁は、素もぐりで行われており、沖から船で漁場に向かうグループと浜から徒歩で漁場に向かうグループがあります。

「お倉ヶ浜」のハマグリは保護区域が定められ、殻の大きさが6cmを超えるものしか獲ってはいけないなど、その資源管理が行われています。

「お倉ヶ浜」は、アカウミガメやコアシサシの産卵地でもあり、日向市では森林管理署や宮崎県、漁業者等に協力をいただき、保護





### 上：海の駅 細島（ほそしま）

海の駅 細島には、レストランや物産館が整備されています。

細島漁港を展望できるレストランでは、地元で水揚げされた新鮮な魚料理や細島の郷土料理を堪能することができます。また、物産館では地元で水揚げされた新鮮な海産物や加工商品、地元の野菜や果物加工品などを販売しています。



### 上：牧水公園

多目的研修施設「ふるさとの家」をはじめ、食事ができる「牧水庵」、貸しコテージ、キャンプ場、テニス場、草スキー場、遊具広場、パターゴルフ場、陶房施設、河川プール、水車小屋などが整備されており、一年を通してグループや家族で楽しめる施設です。



### 左：牧水生家

坪谷川のほとりにたたずむ牧水の生家。牧水の祖父・健海によって1845年に建てられ、牧水生誕当時とほぼ同じかたちで保存されています。

のために砂浜への車両の乗り入れを原則禁止しています。

毎年、アカウミガメの産卵が確認され、孵化したアカウミガメが海に帰る姿も見られます。

太平洋に面した遠浅の地形はサーフィンに最適な波を生みだし、県外からも多くのサーファーが訪れ、国際大会も開かれています。国際プロサーフィン選手権大会は毎年10月に行われており、温暖な気候から一年を通じて県内外からのサーファーが多く訪れています。

**日** 向市の海岸は変化に富んでおり、白砂青松のお倉ヶ浜だけでなく、高さ70mの柱状節理の断崖を日向岬の馬ヶ背展望台で見ることが出来ます。馬ヶ背展望台の先、日向岬展望台から見る水平線の展望は雄大のひとつです。

岩礁域はメジナなどの釣りの好ポイントが続き、渡船だけでなく地磯でも釣果が聞かれます。

4月には「**「牧水の里つつじ祭り」**」、8月には全国各県から参加のある「日向ひよっとこ夏祭り」や800年続く「十五夜祭」、11月には「日向はまぐり基石まつり」などが開かれ、賑わいを見せてくれます。



## 宮崎県日向市への アクセス



### 飛行機を利用

国内各空港 (※) から宮崎空港へ。  
宮崎空港駅からJR日豊線で日向市駅まで55分。

(※宮崎空港には羽田空港、中部国際空港、伊丹空港、広島西空港、福岡空港、長崎空港、那覇空港からの発着便があります。)  
(平成21年12月現在)



### 電車を利用

JR小倉駅からJR特急ソニックでJR大分駅 (もしくはJR別府駅) へ、JR大分駅 (もしくはJR別府駅) からJR特急にちりんへ乗り換えてJR日向市駅。

JR小倉駅からJR日向市駅まで所要4時間前後。

# 百選地探訪



# 赤沢自然休養林

## 長野県上松町



木曾駒ヶ岳



栈 (かけはし)

江戸時代に東西を結び、東海道に次ぐ主要街道だった中山道。中山道の西の起点、京都三条大橋から28番目の馬籠宿と38番目の贄川宿までの間にある11の宿場町は木曾11宿と呼ばれている。上松宿は木曾11宿のちょうど中間33番目の宿場町にあたり、木曾谷から産出される木曾ヒノキの集散場として栄えてきた。この木曾ヒノキは日本三大美林の一つとしてあげられ、「青森ヒバ」、「秋田スギ」と並び高品質の木材とされる。

### 木曾ヒノキと木曾八景

**長**野県上松町は、県都長野市から約130km、松本市からは70kmの位置で、東に木曾駒ヶ岳、西に御嶽山山麓に挟まれた木曾谷にあり、町の中心を木曾川が流れる人口約5千人の町です。上松町では、高地や森林を活用した取り組み、伝統工芸などを取材しました。



木曾ヒノキ



小野の滝



寝覚の床

木曾にある特に美しい八つの景勝地は木曾八景と呼ばれ、その5つは「棧の朝霞」「寝覚の夜雨」「風越の青嵐」「駒ヶ岳の夕照」そして、小野の「瀑布」を上松町で見ることが出来る。

寝覚の夜雨が見られる「寝覚の床」には大きな岩が木曾川の流れによって彫られた景勝地で、幾重にも彫られ切り立った岩のスケールの大きさと岩間を流れる深緑の木曾川の美しさに目を奪われる。また、この地が「寝覚の床」と呼ばれる由縁は、竜宮城から戻ってきた浦島太郎がこの岩の上で寝覚めたと言われる伝説があるため、中央の岩の上には小さな祠「浦島堂」が祀られている。この祠には岩づたいに渡ってたり着くことができ、ここからの景色も一味違って現実離れた空想的な眺めを味わえる。

### “信州そば”と“えごま”

信州と言えば、そばの産地として有名だ。上松町には、寛永元年（1624年）創業350年を超える日本で3番目に古いと言われているそば屋



信州そば



「えごまドレッシング」と「えごま味噌」

がある。実はこのそば屋、十返舎一九の木曾街道藤栗毛や島崎藤村の小説にも登場しているのだ。こちらのそばは、実の中心部だけを白にかけて挽いているため白いそば粉になり、これによって創業以来の受け継がれてきた「コシのある白いそば」が作られる。食べてみれば、説明のとおりコシがあつてツルツルしている。また、ここは巻き寿司の酢飯部分がそばになつている。「そば寿司」も人気だ。そばに酢が効いていて、真中に巻いている具材と合っていて、とても美味しい。

食後は、そばつゆにそばを茹でた湯を注いで割る。そば湯で締めくくる。木曾路上松では、そばの美味しさを余すことなく堪能することができる。

### えごま

えごまはシソ科の植物で、含有成分のαオレイン酸の働きで体脂肪の燃焼を助けたり、血液がサラサラになると言った効果が期待される健康食品だ。えごまは、家庭でも比較的簡単に栽培できることから上松町では各家庭に栽培を呼びかけ、生産量の増加に取り組んでいる。また、採取したえごまは食用油として搾取るほか、炒つてすり潰し、味噌と混ぜ合わせた「えごま味噌」を製造し販売も行っている。

### 網代細工とへぎ板

網代細工は、茶室などの室内装飾に用いられてきた伝統技法。この網代細工は木や竹を編んで作られるのだが、材料となる

板がしなる程薄くないと編むことは困難なのだ。薄い板を編むという網代細工自体は木曾独特のものではないのだが、5世紀後半の遺跡から発掘されたケースもある程昔から使われてきた工法とされている。しかし、のこぎりの無い時代にしなる程の薄い板をつくるためには目に沿って木の繊維を裂いていくしかなく、この工法が変わらずに現代へと受け継がれてきたことになるのだ。この目に沿って木の繊維を裂く作業を「へぎ」と呼び、作り出される薄い板は「へぎ板」と呼ばれる。また、この製法ゆえに多少の凹凸はあるが逆に自然な感じを生み、表面の艶は何十年と時間が経つても失われずに高い品質を保つことができる。

上松町でこのへぎ板を作り、網代編みを営んでいるのが小林鶴三さん。小林さんは1本の丸太からへぎ板を作り、網代細工の天井や建具、衝立、屏風などを完成させる国内唯一の職人で、平成16年に「森の名手・名人」に認定された。また

最初、木目に刃を入れ、後は手で割っていく



薄く割られて粘り強くなるクロベ



網代細工で作られた衝立

小林さんのへぎ板は、上松産のクロベ（ネズコ）とサワラから作られ、クロベは落ち着いた濃い茶色、サワラは透明感のある明るい茶色をしていて、どちらも粘り強い特性を持っている。網代には矢羽根や市松、亀甲、石畳など様々な模様があり、クロベとサワラの組み合わせ方で作品の色調も自由に表現できるのだ。

## 信州・木曾上松赤沢森林浴

上松町にある赤沢自然休養林は森林セラピー基地に認定されている。

基地の認定は、制度が開始された平成18年4月からだが、上松町では認定以前から森林浴をテーマにしたイベントを毎年春と秋に開催している。今回、この森林浴イベント「第39回信州・木曾上松赤沢森林浴」に参加し、先進地上松町の森林浴イベント取材した。

今回のイベントには、東京都や神奈川県など関東をはじめ様々な地域から参加が見られた。また、今年は10月4日の開催で林内が紅葉し始めた時期にあたるため、イベント以外の観光客も新潟県や愛知県などから紅葉を楽しみに来ていた。

さて、イベントコースは、通常入山禁止の保護林「学術研究路」を歩く「学術研究コース（約4・5km）」とゆっくりペースで休養林内の通常の散策路を歩く「ふれあいコース（約3km）」の2コースがあり、今回は学術研究コースに参加した。また、イベントは10人くらいの班に分かれて、それぞれの班に、赤沢自然休養林を管理する森林管理署の職員や地元ボランティアの方が務めるガイドが付いて、引率や説明を行っている。

最初に休養林内に設けられている森林鉄道に乗ってコース入口の休養林の中心部あたりまで移動して森林浴が始まる。それでは、コース内の見所やガイドの説明をポイント毎に紹介していくことにしよう。

開会式



森林鉄道



## ③植樹と伐採・「ヒノキ1本、首一つ」の御触れ

この赤沢は、植栽に関して手を加えていない天然の状態になっています。この区域以外では行っているところもありますが、ここ赤沢では行っていません。伐採についても保護林ですから行っていません。中には明治、大正時代に少し切られたものもあるみたいですが、台風などで倒れたり折れたりしたものを管理目的で切ることはありません。

ちなみに伐採と木曾五木の成り立ちは関連があります。江戸時代に大量に切られた山の将来を危惧したことから「ヒノキ一本首一つ」という言葉があったくらいその後の伐採を厳しく管理していました。このことが逆に広葉樹は切ってもいいということになり、昔の人は広葉樹ばかり切っていたため木曾五木が残っていない特徴的な山になったという経緯なのです。

## ①赤沢自然休養林の植生

赤沢の特徴として、木曾五木のヒノキ、サワラ、ネズコ、アスナロ、コウヤマキの他、広葉樹のマルバノキやシロモジもあります。マルバノキは丸、シロモジはフォーク状の葉をしています。紅葉シーズンにはマルバノキは赤茶、シロモジは黄に変わり、木曾五木の緑と一緒に大変目を楽しませてくれます。

他にも、ホオノキといって「ほおば巻き」に使われる木も多くあります。ほおば巻きは、柏餅に似た木曾地方のお菓子で、柏の葉の代わりにホオノキの葉が使われます。



## ②ヒノキとサワラ

ここ木曾谷のヒノキは樹齢が大体300年くらいではないかと言われていて、正確には切ってみないと分かりませんが、なぜ300年なのかというと、江戸時代に城や城下町の建築のためにほとんど切り尽くされてしまったと言われていて、残った木から種が落ちて自然に生えたものが現在に至っていることになるので歴史的に考えると樹齢が300年前後になるためです。

ヒノキによく似た木としてサワラがありますが、木の肌を見ると違いが分かります。ヒノキはザックリした感じで、サワラは細かい感じをしています。ヒノキは男性的、サワラは女性的とも言われていて、枝もヒノキはサワラより太く見えます。また、木曾ヒノキは強くても匂いも良いということで、国産木材の中でも最高級品の一つです。サワラは特に水に強いのでお風呂や桶などに使用されています。



## ④保護と木材資源

木曾谷の自然休養林は728haあり、その中に木曾ヒノキの遺伝子をそのまま残していこうという保護区域（緑の区域：81ha）、植物群落保護林として木曾五木を中心に保護していこうという区域（ピンクの区域：333ha）を指定しています。

ちなみに木材市については、この区域以外の木曾ヒノキや植林されたヒノキ、カラマツなどが出荷されています。しかしながら木曾ヒノキは大変貴重な木材ですので、切れる上限を8000立米くらいに設定しています。

これら以外で市場に出回っている木材というのは、ほとんどが間伐された人工のヒノキです。間伐すれば森林が育って二酸化炭素を吸収するという地球温暖化防止の効果があるので間伐にも力を入れています。

なお、木曾ヒノキと呼べる対象は木曾谷と岐阜県の一部にあるヒノキに限定されています。この他のものは単純に天然ヒノキという呼び方をします。



## 赤沢自然休養林データ

- 年間平均気温 8℃ ●面積 728ha
- 標高 1080m~1557m
- 森林浴の森日本100選
- 森林セラピー基地 ○日本の自然100選
- 遊歩100選 ○かおり風景100選



大木に囲まれた空間を歩く



### ①奥千本（おくせんぼん）

ここは奥千本と呼ばれているところで、ヒバが無く、シロモジが多く見られます。赤沢の中でも光がよく入るので広葉樹が多くあります。

この辺りは、明治時代から戦後にかけて伊勢神宮の神宮備林となっていた時期がありました。

その頃は胸高直径が60cm以上の曲がっていない真っ直ぐなヒノキを“大樹”と呼び、台帳に登録して管理していました。なお、台帳には、木曾谷で約18,000本、赤沢周辺では2,690本が登録され、アルミ板で番号が付けられていました。



### ⑨合体木（がったいぼく）

ここにはヒノキとサワラ、ヒノキとヒバの合体木があります。根元は一つの株で、接ぎ木に近いイメージです。どちらもヒノキの仲間だからこそ成し得る技なのです。



### ⑧強度伐採

この辺りは140年前に強度伐採されたところで、抜き切りでもなく部分的に一面を伐採しています。

なぜ、140年前なのかというと伊勢神宮の式年遷宮に当たるため、その時の伐採地となったのではないかと推測されています。

### ⑤天然更新

大きい木曾ヒノキの下には細いヒバが生えていますが、これは木曾ヒノキの子供が全然育ってないという状態なんです。

ヒバは日陰の暗いところでも育つ特性がありますが、ヒノキはある程度の日が当たらないと天然でも人工でも育ちません。このように現在、結構暗くて日が入らない林になっていて、休養林のほとんどに同じようなことが言えます。

さて、この細いヒバですが樹齢は80年くらい経っています。大きな木曾ヒノキが倒れて日が入るときをじっと暗いところで待っているところです。

ここでちょっと考えてみましょう。もし、木曾ヒノキの寿命がきて倒れてしまうと、下で待っているヒバが成長して、今度はヒバの山になってしまいます。木曾なのでやっぱり木曾ヒノキを残していきたいという気持ちが地元にはあります。ここは保護林なので、このような手を加えない状態にしていますが、ここ以外は何とか木曾ヒノキの子供を育てようとしています。そのために他の地域では、下で待っているヒバを切ることで、そして日を入れるために大きくなった木曾ヒノキを20~30%程度間引くことを試んでいます。



### ⑩三つ紐伐り（みつひもぎり）

伊勢神宮の御神木には、2本の真っ直ぐで素性の良い木を選んで伐採します。この2本は切り倒したときに重ならないといけないう仕来りがあるため、距離が約20m以内にあることも条件になります。

御神木の伐採はチェーンソーではなく全て斧で伐り、倒したい方向へ確実に倒すため、三方から斧を入れます。これを“三つ紐伐り”といい、この技術は現代も保存会の手で引き継がれています。



### ⑥木曾ヒノキの集団枯死

この辺りでは、2006年に枯死した木曾ヒノキが急に増加しました。2005年の年間最低気温が大変低かったことから、凍害が起り衰弱、枯死へと影響したのではないかと推測されています。



# 姥ヶ滝



石川県白山市

**石** 川県白山市は日本三名山である白山から県下最大の河川手取川、そして日本海に広がる白砂青松の海岸など山から海へと豊かな自然に恵まれた地域です。人口は約11万人、金沢市に次いで2番目の都市です。

県都の金沢市から南西に約10kmの位置にあり、市域は約755km<sup>2</sup>と県内で最も広く、北部は日本海に面し、南部は岐阜県と福井県、東部は富山県に接しています。

また、白山市は名称のとおり富士山、立山と並び日本三名山にあげられる、「白山」の麓にあり、白山から手取川に沿って扇状地が形成されています。吉野谷、尾口、白峰地区の山岳地域は白山国立公園に含まれ、ハクサンの名を冠した高山植物やニホンカモシカなどの大型哺乳類の他、イヌワシなど希少な猛禽類も生息しています。

ここでは、白山の恵まれた自然を活かす工夫とその取り組みを取材しました。

## 天然露天風呂からの眺め

**日** 本の滝百選の「姥ヶ滝」は、白山市吉野谷地区から世界遺産の白川郷合掌造り集落で有名な岐阜県白川村に跨る「白山スーパー林道」の脇にある。ここへはスーパー林道内のパーキングから続く遊歩道を使い、徒歩10分程度で到着する。この滝は、老婆が白髪を振り乱す様に頂上から広がりながら落ちてくる水の流れが特徴的なことから姥ヶ滝とい



滝の正面には露天風呂



スーパー林道沿いには姥ヶ滝を含め、7つの滝を見ることが出来る



パーキングから姥ヶ滝へと続く遊歩道

う名が付いたと言われている。また、滝の正面には、「親谷の湯」と呼ばれる露天風呂があり、ゆったり浸かって姥ヶ滝を鑑賞することができる。さらに今年の10月には、露天風呂の側に足湯が整備され、気軽に温まりながら滝を鑑賞できるようになった。





## 獅子吼高原からの夜景百選

**白** 山市の中央に位置する鶴来地区で選ばれた夜景を眺めることができる。夜景百選に選ばれたのは、白山市を一望できる獅子吼高原にあるパーク獅子吼からの夜景で、日本海へ向かう手取川に

沿って散りばめられた街の明かりが銀河の様に輝き、4.49(シシク)万ドルの芸術を作り出している。

ボードなどのウィンタースポーツを楽しむことができる。

このパーク獅子吼に隣接されている“獅子ワールド館”では、巨大な夫婦獅子頭や世界中の獅子頭が展示されている。また、ロープウェイで更に上のスカイ獅子吼へ行けばパラグライダーなどのスカイスポーツのほか冬にはスキーやスノー

◆ ◆ ◆  
1市2町5村が一緒になった白山市では、それぞれが培ってきた特徴を活かしながら、白山という大きい背景のもと、しっかり結束して新たな挑戦に取り組んでいる姿が印象的だった。



獅子吼高原から眺める“夜景百選”



獅子ワールド館に展示されている巨大な夫婦獅子頭

# 会員百選地通信



## 日本最大級の黒松林「風の松原」 秋田県能代市

**能代市**は秋田県の北西部に位置し、世界自然遺産白神山地の麓に広がる自然の恵み豊かなまちです。「能代」の名は、能代工業高校バスケットボール部の活躍や天然秋田杉により木都能代として栄えたまちとしても知られています。



上空から見た風の松原



ウッドチップが敷かれた通路

数々の百選に選ばれた「風の松原」は、能代海岸砂防林の愛称です。南北約14km、東西最大幅1km、面積760haに広がる約700万本のクロマツの林は、すべて人の手で植え、育てられた日本最大規模を誇る雄大な人工のクロマツ林です。約三百年前の江戸時代半ばからクロマツの植栽が始められ、現在も保全活動を続けて大切にしています。

市街地に隣接した広大なクロマツ林に、市外から訪れた方は一様に驚かれますが、季節風で大きく傾いた松の小径を、ハイキングやジョギング、サイクリングコースなどで利用でき、その近さから多くの市民に日々利用されています。皆様もぜひ、楽しみながら散策して、心身ともに癒されてください。皆様のお越しをお待ちしております。

## 浄土ヶ浜 岩手県宮古市

### 浄

土ヶ浜は、陸中海岸国立公園の代表的な景勝地であり、毎年約100万人の観光客が訪れる有数の観光地です。浄土ヶ浜という地名は、天和年間に宮古山常安寺七世の霊鏡電湖（1727年没）が、「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆したことから名付けられたと伝えられています。その景観は、白い石英粗面岩でできた断崖や奇岩がノコギリの刃のように突き出し、その純白の岩肌が生ずるアカマツの緑と、海の群青のコントラストが、まるで水彩画のような美しさを創り出しています。

また、奇岩が織りなす複雑に入り組んだ入り江には、「賣の河原」、「剣の山」、「血の池」などと名付けられた奇勝もあります。海水浴場としても多くの利用客を迎え



浄土ヶ浜 (冬の朝)

ており、平成18年度には環境省による「日本の快水浴場百選」に選定されており、その中でも総合的な評価の高い海の一部の「特選」に選定されています。

平成22年度には、新たに「浄土ヶ浜ビクターセンター」及び「浄土ヶ浜レストハウス」（いずれも仮称）が開業予定であり、これまで以上に訪れる観光客に楽しんでいただける環境が整います。

浄土ヶ浜 (初夏)



## 袋田の滝

茨城県大子町

**日** 本三名瀑の一つ、袋田の滝は、茨城県最北部に位置する大子町にあり、高さ120m、幅73mで水の流れが大岩壁を四段に流れることから別名「四度の滝」と呼ばれています。

また一説には、西行法師がこの地を訪れた際「この滝は四季に一度ずつ来てみなければ真の風趣は味わえない」と絶賛したことからも伝えられています。

平成20年9月13日、これまで

より44m高い位置に、エレベーターのある新観瀑台がオープンしました。従来の、滝を見上げる迫力ある風景だけでなく、高い位置からも袋田の滝の全景を見渡すことが出来る様になりました。



袋田の滝 (春)

春は新緑、夏には水音がこだまし、秋には紅葉、冬には氷結の静寂さという、四季それぞれに織りなす滝の造形が、訪れる人々には深い感動を感じていただけることでしょう。



袋田の滝 (秋)



## 根尾の滝

岐阜県下呂市

**岐** 岐阜県下呂市小坂町地域には日本の滝百選の「根尾の滝」をはじめ、落差5m以上の滝が216箇所も存在します。山奥に人知れず流れ落ちる滝を調査し、滝めぐりコースを設定する等資源の活用方法を模索してきました。平成18年には「NPO法人飛騨小坂200滝」が設立され、滝のガイド事業を展開中です。滝のほとんどは国有林の中にあり、立入りが厳しく制限されていますが、ガイド付きツアーについてはその都度入林許可を得て案内ができる仕組みをつくっています。NPOは、滝のガイドを通じて地域の活性化と自然を活かした「まちづくり」を提唱し、訪れる人々にその魅力を伝えようと日々活動に励んでいます。そうした活動が認められ、平成20年には岐阜県内の全国に自慢できる観光資源を認定する「岐阜の宝もの」の第1号に「小

滝のガイド「飛騨小坂200滝」



坂の滝めぐり」が認定されました。今後も自然を守りながら滝の魅力を伝え、エコツーリズムの実践していきます。



根尾の滝



# 「付知峡でイベント」

## 岐阜県中津川市

森林の市 5月3日～5日までの3日間

木の良さとぬくもりを改めて感じることのできるイベント。地元木工製品・原木板等の展示販売・家屋建前実演(3日)、その他ステージイベント、家屋建前完成後の餅投げ(5日)が催される。



大勢の人で賑わう「つけち夢まつり」

つけち夢まつり 8月14日  
地元特産品の販売(五平餅、川魚の塩焼き等)、バザー、ゲームコーナー、ステージイベント(ビンゴ大会)、夜の盆踊りなど夏祭りを一日中楽しめる。(町内にはたくさんさんのキャンプ場があります。合わせてお出かけ下さい。)

山の緑が美しい季節になり、イベントも新緑も楽しめる。

つけち花火大会 8月13日

山々に響きわたる花火の音が、体中に響き、目で見て、体で音を感じることの出来る花火大会。天気によければ、花火を見た後、星の観察もおすすめ。

つけち全国レディースクラフトフェアー 毎年10月 第3土・日

全国の女性クラフト作家による展示販売会。工芸、陶器、ガラス、染色など女性の感性を活かした現代クラフトを販売している。1つ1つが手作りのため、温かみと、個性のある作品が見られる。



全国の女性クラフト作家が集う「つけち全国レディースクラフトフェアー」

# 孝子伝説を秘めた名瀑「養老の滝」

## 岐阜県養老町

**養** 老の滝は、高さ約30メートルの滝で、巨岩老樹に囲まれた公園の奥深くにあります。岩角を打つととうとうと流れ落ちる水は清冽を極め、くだけ散る飛沫が霧のように立ちこめて、夏なお肌寒さを感じさせます。

養老公園 (桜)



養老公園 (紅葉)

その見事な景観は、孝子伝説を秘めて、名瀑の名に恥じません。孝子伝説とは、

親孝行な樵(きしり)・源丞内(げんじょうない)が山中で見つけた山吹色の水が、実は老父の大好きなお酒で、これを飲んだ老父はすっかり若返ったという、めでたい昔話です。

また、養老公園には子ども連れやご年配の方など年齢層は幅広く、年間約100万人の観光客が訪れており、養老の滝以外にも、現代芸術家・荒川修作氏と詩

人のマドリン・ギンズ氏の構想による体験芸術庭園の「養老天命反転地」や自然の地形と環境を十分生かした子どもの遊び場である「岐阜県こどもの国」などもあり、一日中楽しんでいただけます。



養老の滝 (新緑)





**お**おい町は福井県の南西に位置し、山と海に囲まれた自然豊かな町です。京都府との県境にある八ヶ峰山頂（標高800m）からは、若狭富士と称される青葉山やシャクナゲの自生地として有名な頭巾山、日本海側では珍しいリアス式海岸の若狭湾等を遠望することができます。

森林浴の森百選に選ばれている八ヶ峰自然休養林には、ブナの原生林が広がっており、夏になれば青々とした葉が生い茂り、秋には真っ赤に紅葉し四季を通して多彩な自然との出会いを演出してくれます。

ブナには高い保水能力があるので、八ヶ峰自然休養林の山腹にも落差約20mの滝があり、夏でも涼しく森林浴を楽しむことができます。

『八ヶ峰自然休養林』

福井県おおい町



また麓には、八ヶ峰家族旅行村があり、キャンプ、釣り、魚つかみ等、様々な自然体験活動を行うことができます。シーズン中は多くの観光客で賑わいます。都会では味わうことのできない、自然豊かな「おおい町」へ、ぜひ一度お越しください。



八ヶ峰家族旅行村

『国立公園慶野松原』

兵庫県南あわじ市



夕陽に映える慶野松原

**慶**野松原は、万葉の昔から柿本人麻呂ら多くの歌人たちに愛され、歌にも数多く詠まれた風光明媚な景勝地です。また、約5万本の淡路黒松が生い茂り、白い砂浜が約2・5kmに延びる淡路島随一の白砂青松の地としても知られています。

ここは、日本の白砂青松100選、日本の渚百選、日本の夕陽百選、さらに快水浴場百選では、日本で12箇所しかない特選の一つにも選ばれました。キャンプや海水浴はもちろん、夜空を彩る花火大会など一年を通じて観光客でにぎわっています。

播磨灘に面して広がる海岸の砂浜には樹齢数百年にも及ぶ老松が生い茂り、四季折々の情緒も豊かに人々を迎えてくれます。その松越しに見る夕日はまさに絶景で、夕日が水平線に沈んで行くロマンチックなムードの中、カップルがプロポーズ!? 海岸沿いに延びる「プロポーズ街道」には、そんな甘い言葉を楽しむカッブルが、特産品である淡路瓦をハートにかたどり、愛の言葉や名前を刻む『プロポーズ瓦』が展示されています。



愛の言葉や名前が並ぶプロポーズ街道



## 四季折々の景観美を持つ「猿尾滝」 兵庫県香美町

**兵** 兵庫県の北部に位置する香美町は、氷ノ山後山那岐山国定公園、山陰海岸国立公園等の豊かな自然に囲まれ、「但馬牛」「松葉ガニ」といった代表的な特産物有するまちです。

「猿尾滝」は、上下2段に分かれた滝で、下段の滝が猿の尾に似ていることからこの名前が付いたと言われています。

上段落差39m、下段落差21m、総落差60mの大瀑布が岩肌と自然林に映え、春は新緑、夏は納涼の滝姿、秋は燃えるような紅葉と白い瀑布のコントラスト、冬は氷壁の滝と四季折々の表情がみられます。

また、江戸時代に村岡藩主の山名公が猿尾滝で「そうめん流し」を楽しんだ言い伝えもあり、地元では毎年7月の第2日曜日に「猿尾滝祭り」を催し、青竹を

新緑に映える滝「猿尾滝」



加工した約70mのコースを作り、大規模で情緒ある「そうめん流し」を行います。滝までのアクセスも駐車場からわずか100mと近く、ぜひ一度「猿尾滝」へお越し下さい。



冬は氷壁の滝へと姿を変える「猿尾滝」



## 岡山県下最大の海水浴場『渋川海岸』 岡山県玉野市

**渋** 川海岸は本市を代表する海岸であり、瀬戸内海国立公園区域に指定されている渋川海岸は本市観光の拠点となっています。夏期は県下最大の海水浴場として県外からの利用客も多く、たくさんのお客で賑わいます。

白砂青松の海岸線は約1kmの長さで、一年を通じてヨット、ウィンドサーフィンなどのマリンスポーツも盛んに行われています。また年末年始・祝日等にライトアップされた瀬戸大橋を眺めながらの景観はロマンティックで、デートスポットとしても有名です。

周辺にはダイヤモンド瀬戸内マリノホテル、市立玉野海洋博物館、キャンプ場、約900mの長さで日本一の長さを誇る渋川公園藤棚のほか、花崗岩の巨奇岩が林立する特異な景観で知られ、山頂から瀬戸内海を挟んで四国連山や瀬戸大橋の全景が見られる「王子が岳」や日本初の

渋川海岸（全景）



おもちゃのテーマパークである「おもちゃ王国」など、様々な種類の観光アイテムが集積しています。皆様も、是非渋川海水浴場へお越しいただき、抜群のビーチロケーションをお楽しみください。



渋川海岸（夕暮れ）





## 室積・虹ヶ浜海岸

**光**市は瀬戸内式の温暖な気候に恵まれ、森・川・海の豊かな自然環境が広がっています。

中でも、白砂青松で知られる室積・虹ヶ浜海岸は瀬戸内海国立公園に指定され、広大な瀬戸内海国立公園の中でも数少ない、昔ながらの原風景を留めた貴重な自然景観が保たれている海岸です。

両海岸とも海岸線に沿って黒松が植生し、潮の香りとともに松の香りに癒されます。

室積海岸は島田川の河口東側に位置し、緩やかな弧を描く砂浜に約2・7kmにわたって黒松が植生しています。沿岸部にはイルカの仲間のスナメリが姿を見せに來ます。地元ではデゴンドウと呼ばれており、成体でも2m弱しか大きくありません。浅い海域と柔らかい砂地の海底を好み、小魚やイカ、エビなどを食べます。近年では、生息数が減少しており、非常に希少な存在になっています。

室積海岸



## 山口県光市

虹ヶ浜海岸は島田川の河口西側に位置し、約2・4kmにわたって黒松が植生しています。ハマゴウやハマユウ、ハマボウフウなどの海岸部に見られる植物が群生しています。また、虹ヶ浜という地名の由来は、海上から浜を眺めるとあたかも虹の架け橋のように見えることから藩主が命名したといわれています。

虹ヶ浜海岸



## 光のまち阿南 ～北の脇海岸～

## 徳島県阿南市

北の脇海岸は、室戸阿南海岸国定公園内に位置し、西日本随一の美しさを誇る北の脇海水浴場を含み、きれいな水質と遠浅、広大で緑豊かな松原、そして2kmにも及ぶ長い砂浜が自慢です。北の脇海水浴場は、休憩所やシャワー施設が充実しており、海水浴シーズンには県内外よりの家族連れや若者たちが多数訪れます。なかでも、7月中旬には、砂像コンテストなどのイベント、北の脇マリンフェスティバルが開催され、観光客の皆様が参加できる楽しいイベントもあり、更に大勢の方で賑わいます。また、3月下旬から11月初旬までの間は、地元漁協による地引網の体験も開催しており、獲れた魚介類をそのまま浜辺で料理してくれるという北の脇海水浴場ならではの楽しみもあります。

LEDの光のまち阿南、それと同じくらいキラキラと輝くビーチ、北の脇海水浴場、に是非お越しください。

観光地引網



北の脇海水浴場



〜高原と温泉と夢の町〜

大分県九重町

**九** 九重町は大分県の中西部に位置する高原と温泉と夢の町です。

季節の変化が鮮やかで四季折々に移ろう大自然を堪能できます。

10月30日でオープン3周年を迎えた日本一の人道専用吊橋『九重・夢 大吊橋』では入場者が早くも500万人を突破しました。長さ・高さだけでなく、橋の上からは日本の滝百選の『震動の滝』など、四季折々の美しい景観を楽しめるスポットということもあり、連日多くの観光客で賑わいを見せています。(今年は紅葉がとても美しく震動の滝も綺麗に色付きました。)

また、九重町に新たな名物として誕生した『九重・夢 パーガー』は、厳しい認定基準を満たした7つの認定店で展開しており、パティにThe・おおいた豊後牛の



九重“夢” パーガー

肩ロースを使用した『ステーキバーガー』、猪肉をミックスした『シシガー』など、どの店舗も趣向を凝らしたハンバーガーを販売しています。

観て、食べて、九重・夢 温泉郷の個性豊かな宿で旅の疲れを癒して下さい。『夢づくし』が満喫できる九重町へ是非お越し下さい。



震動の滝



夏は避暑スポット「鹿目の滝」

熊本県人吉市

**鹿** 目の滝は日本三急流の球磨川の支流、鹿目川の上流にあり、別名「鹿目八重滝」とも呼ばれています。

この滝は、肥後火山の噴火によって仕切られたもので、雄滝、雌滝、平滝があります。雄滝は落差36m。崖下には、人吉盆地がかつて湖であったことを物語る湖底相(人吉層)が露出しています。滝の上方から滝つぼを見ることができ、ちょっとしたスリルを味わえるのも魅力です。

そのすぐ南にあるのが雌滝で、落差30m。急崖を滑るように落下しています。平滝は雄滝の上流に位置し、薄い石が何枚も重なり合って形成された岩の表面を、水が岩を覆いながら流れる、緩やかな美しい流れの滝です。落差は10m。滝の周辺は真夏でも肌寒いほどで、夏場は避暑ス

ポットとして賑わい、8月上旬には地元住民らによる「鹿目の滝まつり」も開かれています。その中で行われる、そんなめん流しは来場者を楽しませます。



平滝



鹿目の滝



世界自然遺産の島 癒しスポットその1 鹿児島県屋久島町  
**太古の森『ヤクスギランド』**  
 (屋久島自然休養林(荒川地区))

**屋** 久島の南の玄関港、安房港から約16km(車で約40分)、宮之浦岳南東部に位置する標高1000m~1300mの荒川清流沿いにあり、約270haに及ぶ自然休養林内におよそ9kmに渡る遊歩道が設けられ、樹齢数千年の屋久杉やツガ、モミ等の大木が、苔むす緑の照葉樹林の中にひっそりと佇む幻想的な雰囲気を手軽に味わうことができます。

もっとも長い150分コースでは、途中から木々の根の間を歩く山道となり、天柱杉や、仏陀杉、ひげ長老などの巨大で風格ある屋久杉を見ることができ、その中を流れる荒川の流れが澄み切った空気をより際立たせ、屋久島の森がパワースポットと言われる由縁を体感できます。また、ヤクスギランドから、車で更に20分ほど山道を行くと道路沿いに樹齢約3000年の紀元杉も見ることができます。



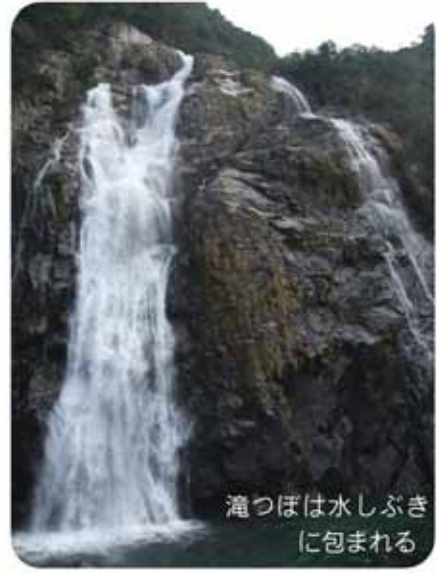
仏陀杉 (樹齢約1,800年)



紀元杉  
 「写真協力：(社)鹿児島県観光連盟」



雨上がりの大川の滝



滝つぼは水しぶきに包まれる

世界自然遺産の島 癒しスポットその2 鹿児島県屋久島町  
**マイナスイオンに包まれる『大川(おおこ)の滝』**  
 (霧島屋久国立公園第3種特別地域)

**屋** 久島最大級の大瀑布は、落差88m。ゴツゴツした岩を乗り越えたと滝つぼまで歩いていくことができ、雨上がりなどは、滝つぼに近づけないほどの水しぶきを浴びる屋久島の荒々しい一面を体感できます。安房港から車で約50分(約35km)。

「1月に35日雨が降る」と言われるほど雨が多い屋久島。その豊富な水により育まれた苔むす太古の森、豊饒の海を有する『水の島』屋久島を象徴するスポットの一つ。

晴れた日は、真つ青な空にそびえる緑の大地を切り取ったように流れ落ちる水が滝つぼに虹を作り、マイナスイオンに包まれて南国の日差しを忘れさせてくれます。

環境省の「名水百選」にも選ばれた『屋久島宮之浦岳流水』にも位置づけられ、近くには『大川湧水』もあり、その天然の恵を体全体で味わうことが出来ます。

平成22年5月16日(日)にはウォーキング大会第17回超自然・屋久島ツアーマーチ(世界自然遺産コース)のゴール会場として心地よい疲れを癒す参加者達でにぎわいます。

西の果て 万葉の里 五島・三井楽 『高浜』 長崎県五島市

「ありとだによそにても見む名にしおわば  
われにさかせよみみらくの島」

「いづことか音にのみきくみみらくの島」

島がくれにし人をたずねむ」

(「いづれも『蜻蛉日記』から」)

「亡き母に会えるというみみらくの島は

どこにあるのですか」

「話しには聞くが、亡き母を一体どこに

尋ねていけばいいのか」

五島・三井楽は、1000年前、亡き人に会える島といわれていた。

五島・三井楽は、1300年前、遣唐使らが唐へ渡るために風待ちをした日本最後の地。愛と勇気と希望を持って大海へと漕ぎ出す遣唐使たちの心が偲ばれる。万葉集では「美禰良久」と登場する。

五島列島・福江島の北端に三井楽があり、その南西部に広がるのが「高浜」。輝くほどの白銀色の砂浜を取り囲むように連なる山々の深い緑、波打ち際から水色、青色、藍色となって東シナ海へ広が



高浜

り、その生態系がそのまま美しい景観を生み出している。砂浜をゆったり歩けば、きれいな桜貝に出会える。

夏は海水浴場としても賑わいます。西の方沖に浮かぶ嵯峨島、東シナ海の水平線を真っ赤に染めながら落ちる真紅の夕日は雄大で、ただ感嘆するばかりです。

平成22年2月14日、三井楽万葉まつりが開催されます。

りゆくさまは、まばゆいほどの美しい眺めです。浜の背後には浜木綿やサキシマフヨウの自生群があるのみ、人工的な建造物はなく、渚本来の浄化能力を保つてお



サクラ貝



サキシマフヨウ



イーフビーチ

沖縄県久米島町

久米島は那覇から南西に約100km、周囲約48kmのこの島の東海岸に、イーフビーチがある。きめ細かな真っ白い砂が2kmにもおよび、久米島を代表する天然のビーチ。海底の砂も沖合いまで続き、干潮になれば沖まで歩いて行ける遠浅。リーフで囲まれているため波が穏やかで、海水浴場として最適な環境です。

海水浴以外にも、釣り客やダイバーも多い。夏には色鮮やかなエメラルドグリーンが眼下に広がりマリネジャーのメッカとして多くの人で賑わいます。

ビーチ周辺にはマリリゾートとしての整備も行き届いており、リゾートホテル、ダイビングショップなどが並び、シュノーケルやウィンドサーフィンなどのマリンスポーツも充実。サンデッキ、パラソルなどのレンタルもあるので、1日中快適に過ごすことができます。



Blog Photo View

- 空路は那覇空港から久米島空港まで35分。久米島空港から車で約20分。
- 海路は那覇市からフェリーで4時間。久米島兼城港から車で約15分。
- お問い合わせは商工観光課へ。  
TEL (098) 985-7131



イーフビーチ



●バックナンバーの紹介

【創刊号（平成20年3月発行）】

【第2号（平成21年1月発行）】



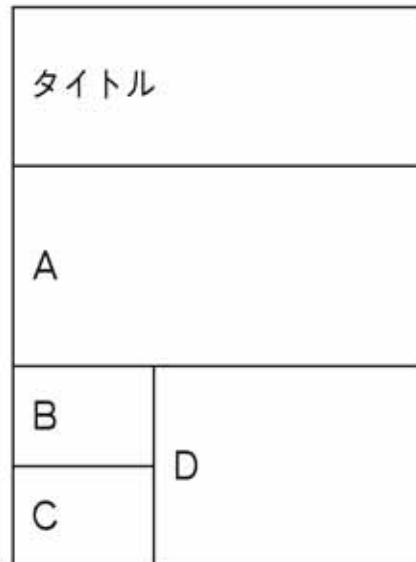
- ・総会開催地の紹介  
山形県鶴岡市
- ・百選地探訪  
森：菊池渓谷（熊本県菊池市）  
滝：龍門滝（鹿児島県加治木町）  
渚：お倉ヶ浜（宮崎県日向市）



- ・総会開催地の紹介  
長野県松本市
- ・百選地探訪  
森：大沼の森（栃木県那須塩原市）  
滝：払沢の滝（東京都檜原村）  
渚：前原・横渚海岸（千葉県鴨川市）

●表紙の写真【宮崎県日向市から】

- A：お倉ヶ浜（日本の渚・百選）
- B：クルスの海
- C：九州一のサーフポイント
- D：柱状節理の絶壁 馬ヶ背



日本の森・滝・渚全国協議会 会報「百選賛美」第3号

編集・発行

日本の森・滝・渚全国協議会

〒743-8501 山口県光市中央六丁目1番1号

日本の森・滝・渚全国協議会 事務局（山口県光市役所環境政策課内）

TEL0833-72-1400 FAX0833-72-5943

発行日

平成22年1月

日本の森・滝・渚全国協議会